

プラチナ展望

予想を上回る中国経済の回復で、2023年のプラチナ需要が増えれば、供給不足拡大の可能性も

2023年第1四半期の中国経済はコロナ対策の緩和を経て GDPは 予想された4.0%を上回る 4.5%となるなど順調な回復を見せている。3月の小売は前年比で10.6%の増加(第1四半期は 5.8%増)、自動車生産は前年比14.2%の増加(第1四半期は -4.2%)となった。中国経済の回復がこのまま予想を上回る水準で続けば、2023年のプラチナ需要はこれまでの予測よりも 4.7トン~9.3トン増えることになる可能性もある。

中国は2022年までの過去3年間でプラチナ需要全体の平均 32% を消費する、世界最大のプラチナ消費国である(2ページの図1)。需要のピークは2013年の 85.8トンで、その7割を占める宝飾品需要は長い間プラチナ需要の主要な分野だったが、2013年以降は消費者の好みの変化とともに、プラチナ宝飾品需要は年間で平均 14% 下落している。それを補っているのは2020年から伸びが著しい工業と自動車分野だ。工業と自動車のプラチナ需要は2019年~2022年の間、それぞれ平均で 11% と 39% 増えており、特に工業のプラチナ需要はグラスファイバー製造用ブッシングにロジウムの代わりにプラチナのみを使うようになって急増している。

中国の自動車のプラチナ需要は、自動車生産が2023年第1四半期のような成長(図3)を継続できれば順調に増えるだろうが、バッテリー電気自動車の普及率は下落している(図4)。中国自動車工業協会(CAAM)によると、1月の普通乗用車と商業車の生産高は減ったが、3月にはそれぞれ 14% と 21% 増加。また同協会のデータによると、普通乗用車のバッテリー電気自動車の普及率は、2022年第4四半期には 24.9% だったが、電気自動車購入補助金制度が終了した今年2第1四半期は 21.2% に落ちた。電気自動車の普及率の低下はプラチナ触媒を必要とする自動車の需要が継続することを意味している。

Edward Sterck

Director of Research
+44 203 696 8786

esterck@platinuminvestment.com

Wade Napier

Analyst

+44 203 696 8774

wnapier@platinuminvestment.com

Brendan Clifford

Head of Institutional Distribution

+44 203 696 8778

bclifford@platinuminvestment.com

World Platinum Investment Council

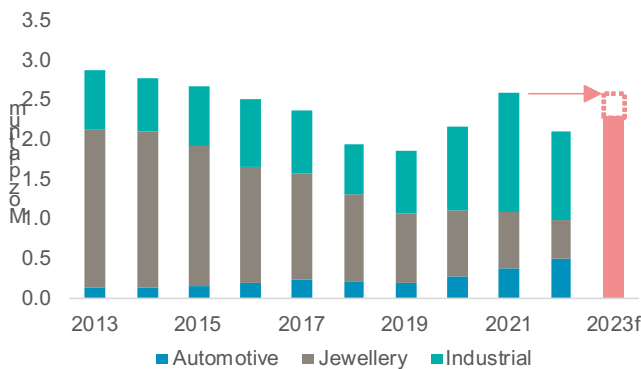
www.platinuminvestment.com

Foxglove House, 166 Piccadilly

London W1J 9EF

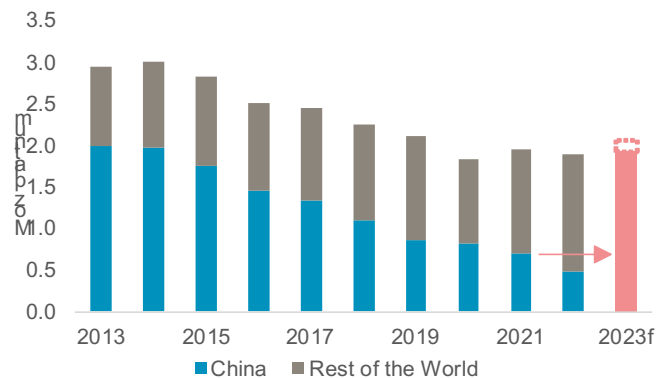
2023年4月

コロナ後の2023年の中国経済の回復ペースは、2020年~2021年に見られたような中国のプラチナ需要増加をもたらす可能性



資料: 2013年~2018年はSFA (オックスフォード)、2019年~2023年はメタルズフォーカス、WPIC リサーチ

中国のプラチナ宝飾品需要が 2021年のレベルまで回復すれば、2023年の予測の上方修正につながる可能性



資料: 2013年~2018年はSFA (オックスフォード)、2019年~2023年はメタルズフォーカス、WPIC リサーチ

コロナ対策のロックダウンと経済状況の悪化で、2022年の中国の宝飾品需要は前年比 31% も減って 15.1トンであったが、コロナ政策が緩和された今、消費者センチメントとともにプラチナ宝飾品需要も上向くと期待されている。我々の最新の『[プラチナ四半期レポート](#)』では、世界のプラチナ宝飾品需要は2022年の58.9トンから、2023年は 2% 増えて 60.2トンになるという予測を発表した。中国の経済データ(図6)によると、2023年第1四半期のゴールドとシルバー宝飾品の小売販売は前年比で 13.6% 増えている(3月は37%増)。プラチナ宝飾品はこのデータに含まれていないが、中国の宝飾品市場が、好調な経済に支えられて2021年の水準にまで回復すれば、2023年のプラチナ宝飾品需要は我々の予測からさらに約 4.7トン増えるだろう。しかしこれでも右上の図にみるように、ピーク時の需要よりも 65% 少ない。

中国の経済回復が様々な分野で需要を喚起し、それがプラチナ需要の増加につながり、2021年の 80.5トンという水準にまで達すれば、我々が四半期レポートで予測した2023年のプラチナ需要は約 9.3トン増えるだろう。そして需要が増えれば、2023年の供給不足は既に我々が予測している 17.3トンよりも拡大することになる。

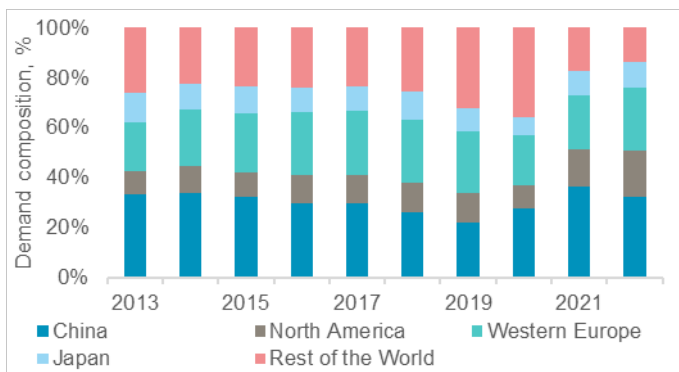
中国のプラチナ需要は変化しており、宝飾品需要の低迷を補って、最近では自動車と工業需要が伸びている

予想を上回る経済の回復で、プラチナ需要が2021年の水準にまで戻れば、2023年はプラチナ需要全体が約9.3トン増え、供給不足は17.3トンよりも増えるだろう

投資資産としてのプラチナの魅力:

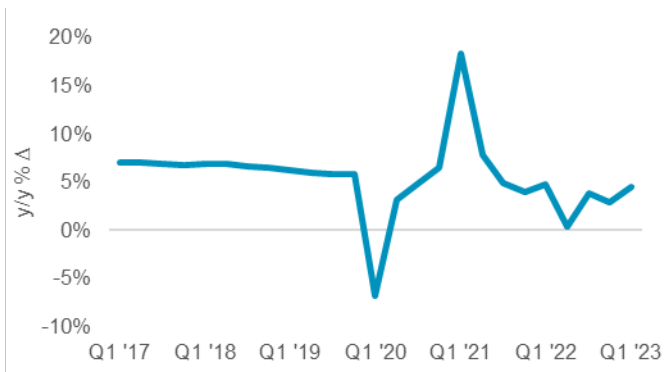
- 新たな鉱山開発にもかかわらず、供給は大幅に制限
- 自動車のPGM需要は、ガソリンエンジンにおける代替の動きにより今後も成長
- プラチナ価格は過小評価が続き、金とパラジウムと比較しても大幅に低い
- 中国の実需を超えるプラチナ輸入で、市場のタイト感とプラチナリースレートが上昇
- WPICの調査によると2023年以降のプラチナ市場は供給不足が続き、不足幅も拡大

図1 中国は世界のプラチナ需要の最大消費地域で、平均して需要の約32%を消費



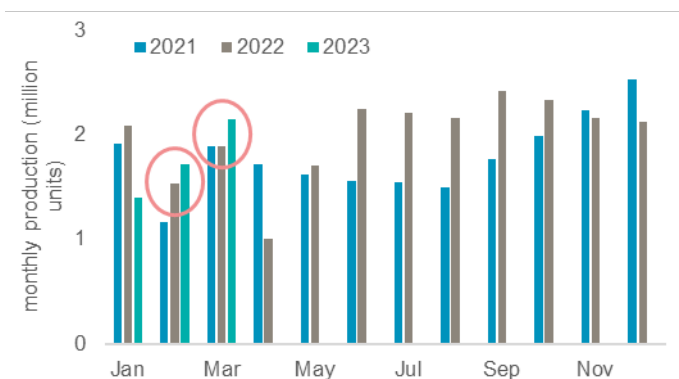
資料: 2013年~2018年はSFA (オックスフォード)、2019年~2023年はメタルズフォーカス、WPIC リサーチ

図2 中国のGDP成長率は、2022年第4四半期は 2.9% だったが、コロナ対策の緩和を受けて、2023年第1四半期は予想を上回る 4.5% を記録



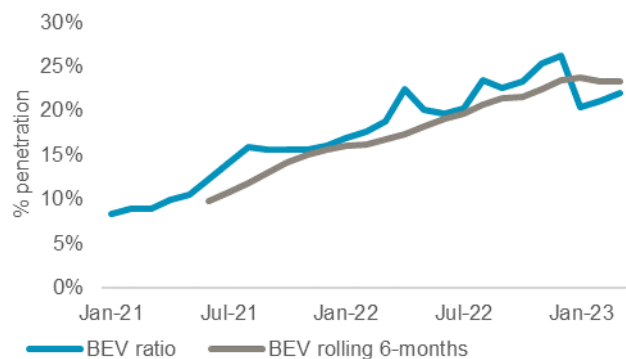
資料: ブルームバーグ、WPIC リサーチ

図3 2023年第1四半期の中国の普通乗用車生産は、前年比でマイナス4%ではあるが、2月と3月は前年比で増加



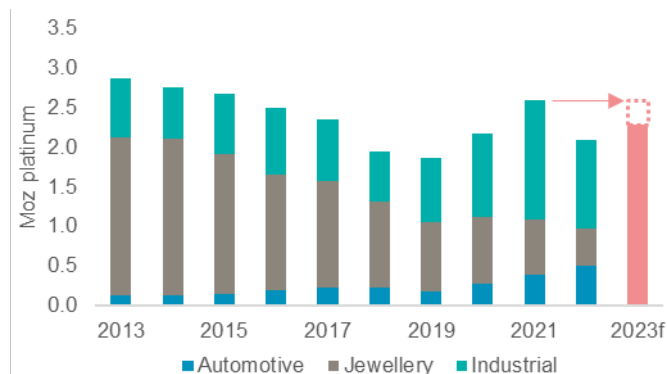
資料: 中国自動車工業協会、WPIC リサーチ

図4 中国のバッテリー電気自動車の普及率は2023年に入って伸び悩み、すなわちそれは内燃機関搭載の自動車のプラチナ需要の増加となる



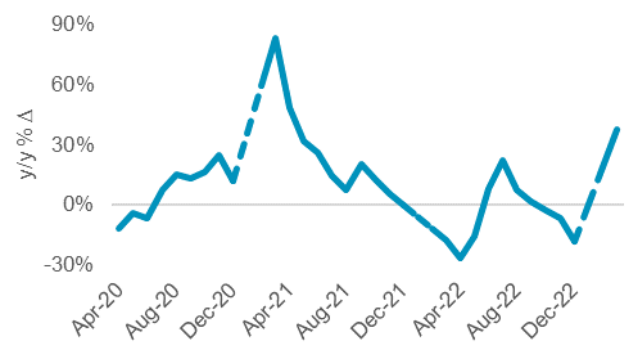
資料: 中国自動車工業協会、WPIC リサーチ

図5 コロナ禍後の2023年の需要が2021年の水準まで戻れば、全体のプラチナ需要は、予測からさらに約9.3トン増えるだろう



資料: 2013年~2018年はSFA (オックスフォード)、2019年~2023年はメタルズフォーカス、WPIC リサーチ

図6 中国の2023年3月の小売データではゴールドとシルバー宝飾品需要が前年比で 37%と大幅に回復 (年初来では+13.6%)



資料: 国家統計局、WPIC リサーチ *点線部分は統計のない月を補間したもの

免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個人個人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確にMinor Non-Monetary Benefit Categoryに分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。またWPICリサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引をも行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Categoryに分類される。WPICのリサーチはWPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPICは機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPICのウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。